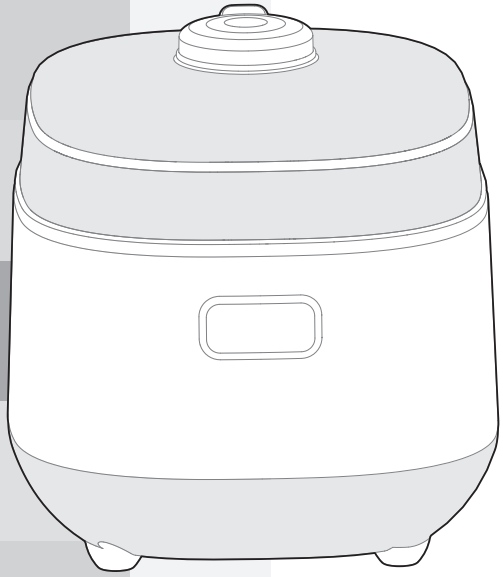
comfee

炊飯器

取扱説明書

CRD-20PYT1B1



⚠ 安全上のご注意：この製品を安全にお使いいただくため、取扱説明書をよくお読みください。

comfee

もくじ

安全上のご注意 1
製品の概要 6
仕様 7
クイックスタートガイド 8
取扱説明書 10
清掃とお手入れ 24
故障かな？と思ったら 26
保証書 28

安全上のご注意

注意

- 安全にお使いいただくため、安全上のご注意をよくお読みください。
- この電気炊飯器は、付属の内なべでのみ炊くできます。蒸し台を使用されている場合、過熱によるプラスチックの変形・火災を防ぐため、蒸し台は単独でお使いにならないでください。
- 内なべを落とさないでください。また、変形を防ぐために、硬い物で内なべをたたかないでください。変形した内なべは交換してください。
- やけどを防ぐため、炊飯中や炊飯終了直後に内なべや内ぶたに直接手を触れないでください。
- イラストと実際の製品に相違がある場合、お手元の製品に準じます。
- 事故を防ぐため、炊飯前に、内なべや蒸気孔が正しい位置にあることを確認してください。
- 炊飯中に、機器からかすかにカチカチまたはシューと音が出ますが、これは正常です。故障ではございません。

安全上のご注意

- 炊飯が終わったら連続で運転される場合、必ず15分以上待ってからご使用ください。ヒーターを冷やす必要がございます。
- 温水調理機能のある製品の場合は、クイックスタートガイドの指示に従ってください。温水調理機能のない製品は、温水で調理しないでください。さもないと、サーモスタットが温度を測定できず調理に支障が出ます。
- 蒸気孔と可動内ぶたは定期的に清掃・点検してください。また、製品を置いているカウンタートップも定期的に清掃して点検してください。
- 本器が正常に機能する標高は0～2000 mです。
- 炊飯器を使用する前に、内なべと加熱コイルの間に水滴・米つぶなどが付着している場合は、過熱異常や短絡を防ぐため取り除いてください。
- 誤動作を防ぐため、電気炊飯器を使用する前に、内なべの外側をふいてください。
- 安全責任者が本機器の使用に関して監督または指示を与えていない限り、本器は、身体的・感覚的・精神的能力が低下している人（お子様を含む）、または経験や知識が不足している人が使用することはできません。
- お子様に本器で遊ばせないでください。

安全上のご注意

警告

- 炊飯中は、布で蒸気孔をふさがないでください。また、可燃物の近くに本器を置かないでください。火災を防ぐため、窓のカーテン、ドレープ、ドアカーテンなどの布地の近くに置かないでください。
- 炊飯中は、やけどをしないよう手や顔を蒸気吹出口に近づけないでください。
- 本器を改造しないでください。火災・感電・けがを防ぐため、機器の分解や修理は専門の業者にお任せください。
- 火災や感電の危険を防ぐため、100V AC以外の電圧では使用しないでください。電源コードが破損した機器を使用しないでください。
- 電源コードの破損による事故や感電を防ぐため、以下の方法で機器を操作しないでください。電源コードを無理に曲げる、高温物体の近くにコードを置く、コードを縛る、コードで重い物を運ぶ。

安全上のご注意

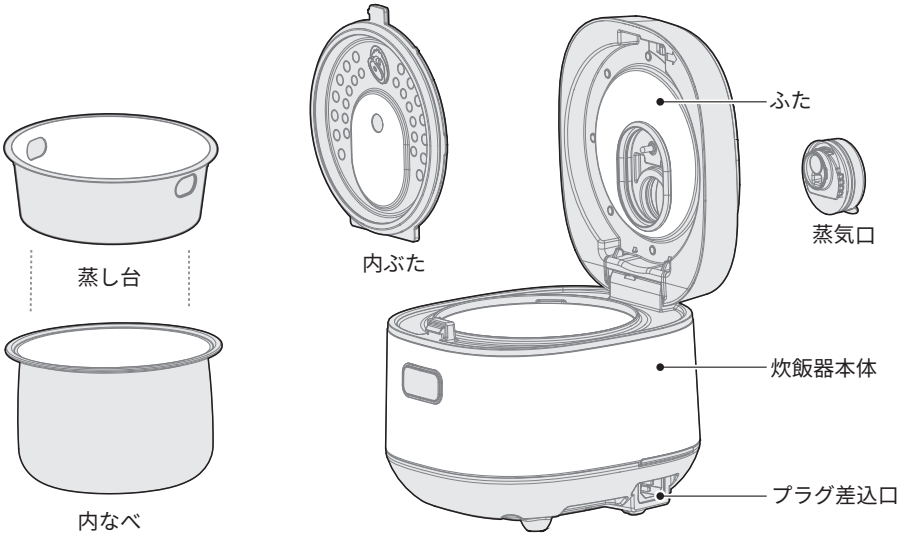
- 差込プラグが破損した場合は、感電や短絡を防ぐため、本器を使用しないでください。電源コードが短すぎる場合は、延長コードを使用してください。良質なコンセントを使用してください。
- 感電やけがを防ぐために、濡れた手でプラグを引っ張らないでください。
- 炊飯中は、炊飯器を動かしたり振動させないでください。
- 感電ややけどなどの事故を防ぐため、お子様や赤ちゃんの手の届かない場所に保管してください。
- 本器を、不安定な場所、水のかかるところ、火気（コンロなど）の近くに置かないでください。30 cm以上の距離も確保してください。機器の破損などの事故が発生するおそれがあります。
- 感電やけがを防ぐために、機器の下部にある蒸気吹出口に、ピンや針金などを入れないでください。
- 機器を水に浸したり、水をかけないでください。
- 定格電流が10 A以上の接地コンセントに、本器のみを接続してください。他の電気機器と併用すると、コンセントが破損し、火事などが発生するおそれがあります。
- 火災・感電・短絡を防ぐため、電源コードの両端とプラグ差込口からほこりと水を取り除いてください。
- 火災・感電・短絡を防ぐため、プラグを確実に差し込んでください。

安全上のご注意

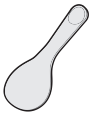
- 本器は家庭用です。
- タイマーや外部リモートコントロールシステムに本器を接続しないでください。
- 炊飯中に表面が高温になることがあります。やけどやケガを防ぐため、ヒーター部や製品の表面に手を触れないでください。
- 本器を通常の家庭廃棄物と一緒に廃棄しないでください。耐用年数が過ぎたら、電気機器および電子機器のリサイクル施設にお持ちください。古い機器の回収やリサイクルによって環境にやさしい処理が行なわれ、天然資源が保護されます。
- コネクターに液体をこぼさないよう注意してください。
- 炊飯終了後、発熱体の表面は余熱で高温になっています。

製品の概要

各部の名称



部品リスト



しゃもじ×1

おたま×1

計量コップ×1

電源コード×1

取扱説明書×1

仕様

製品の技術データ

製品モデル	電圧	周波数	電力	容量
CRD-20PYT1B1	AC 100V	50/60Hz	350W	0.72リットル

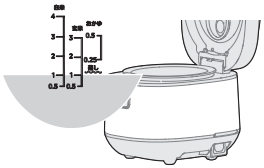
注

本書のイラストはイメージです。イラストと実際の製品に相違がある場合、お手元の製品に準じます。

クイックスタートガイド

予約
例：8時間以内に炊飯を終わらせる。

1. お米をはかる
   お米を洗って内なべに入れ、米の量に応じて目盛を選択します。



2. ふたを閉じ、メニューボタンを押して機能を選択します。

3. 炊きあがり予約タイマーを設定します
   「予約」ボタンを押すと、時間表示が点滅します。もう一度「予約」ボタンを押しすと、表示された予約時間を調整することができます。

4. 炊飯が始まります
   「スタート」ボタンを押すと、指定時間に炊飯が完了します。

ご注意：
表示は、実際の製品をご覧ください。

5. 炊飯の取り消し
   「保温/取り消し」ボタンを押すと、選択した炊飯機能を取消すことができます。

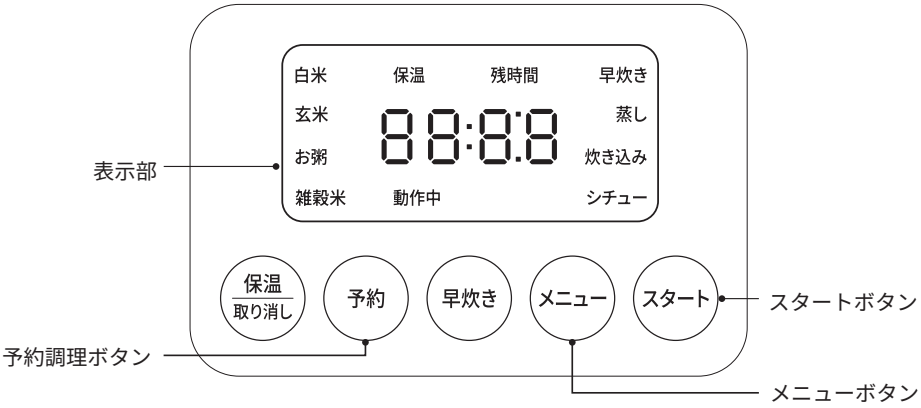
クイックスタートガイド

ご注意：

1. タイマーモードに表示される設定時間は、炊飯の開始から完了までの時間です。
2. ごはんがにおうことがありますので、時間を12時間以上に設定しないようお勧めします。
3. 選択した炊飯機能の設定時間は、炊飯時間より短くしないでください。たとえば、「スープ」の予約時間が2時間以下の場合、調理時間があらかじめ2時間に設定されているため、直ちに調理が始まります。

取扱説明書

操作部分



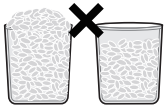
使用説明書

米と水の割合

1. 付属の計量カップを使用して、米を計ってください。

計量カップすりきり一杯は、炊飯すると、お茶碗2杯ほどのご飯になります（直径が約11.5cmのお茶碗の場合）

正解
米はカップの縁と水平でなければなりません



縁より高いまたは低い場合、水加減を正確に調整できません

注

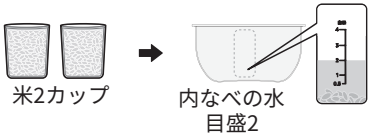
1. 2リットルの炊飯器は、4カップ分までのお米を炊くことができます。米の量がそれよりも多い場合、ふきこぼれたり、生煮えになることがあります。
2. 11.5cmは通常の家庭用お茶碗のサイズです。

取扱説明書

ごはんを炊く前の準備

1. 米を計量してとぎます
   付属の計量カップを使用して米を計り、よくとぎます。
2. 水を入れる
   内なべの右側の目盛まで適量の水を入れます。
3. 炊飯
   炊飯器のふたを閉じ、「早炊き」ボタンを押します。
   もしくは、メニューボタンを押して「早炊き」機能を選択し、「スタート」ボタンを押して炊飯状態にします。約30分後、米が炊き上がり、自動的に保温モードになります。

内なべのの右側の目盛まで水を入れる



注意：炊飯時間は米の量によって異なります。

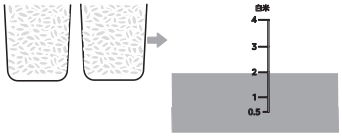
取扱説明書

使用説明書

米と水の割合

1. 米の計量方法
計量カップすりきり1杯は、炊飯すると、お茶碗2杯ほどのご飯になります（直径が約11.5cmのお茶碗の場合）

2. 水加減する
ここでは米2カップを例に取って説明します。といだお米を内なべに入れ、対応する目盛り2まで水を入れます（目盛は実際の製品をご覧ください。



ごはんの炊き方

白米

1. 付属の計量カップを使用して、米を内なべに入れます。
2. たっぷりの水で手早くかき混ぜ水を捨て、水が澄むまで手早く洗いましょう。これを2回以上繰り返します。
3. 炊き上げるご飯の量に応じて適量の水を入れます（内なべの白米の水加減まで）。
4. 内なべの外側の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認してから、ふたを閉めます。
5. 電源コードをコンセントに差し込みます。
6. 初期設定では、「スタート」キーを押すと炊飯が始まります。または、「メニュー」キーで「白米」機能を選択し、「スタート」キーを押します。
7. ピーという音が聞こえ、表示器で光が回転し、炊飯が始まります。
8. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
9. 炊きあがったら、ふたを開け、必ずごはん全体をほぐしてください。
10. ごはんをすべて取り出したら、炊飯器の電源コードを抜きます。

取扱説明書

注

- 内なべの最大目盛の上まで米と水を入れないでください。
- お好みで米と水の割合を調整することもできます。
- ごはんは5時間以上保温しないでください。

玄米

1. 付属の計量カップを使用して、米を内なべに入れます。
2. たっぷりの水で手早くかき混ぜ水を捨て、水が澄むまで手早く洗いましょう。これを2回以上繰り返します。
3. 炊き上げるご飯の量に応じて適量の水を入れます（内なべの玄米の水加減まで）。
4. 内なべの外側の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認してから、ふたを閉めます。
5. 電源コードをコンセントに差し込みます。
6. 「メニュー」キーを押し、「玄米」を選択し、「スタート」キーを押すと炊飯が始まります。
7. ピッという音が聞こえ、表示器で光が回転し、炊飯が始まります。
8. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
9. 炊きあがったら、ふたを開け、必ずごはん全体をほぐしてください。
10. ごはんをすべて取り出したら、炊飯器の電源コードを抜きます。

注

- 内なべの最大目盛（玄米）よりも上まで玄米と水を入れないでください。
- お好みで米と水の割合を調整することもできます。
- ごはんは5時間以上保温しないでください。

取扱説明書

お粥

1. 付属の計量カップを使用して、米を内なべに入れます。
2. たっぷりの水で手早くかき混ぜ水を捨て、水が澄むまで手早く洗いましょう。これを2回以上繰り返します。
3. 炊き上げるご飯の量に応じて適量の水を入れます（内なべのお粥の水加減まで）。
4. 内なべの外側の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認してから、ふたを閉めます。
5. 電源コードをコンセントに差し込みます。
6. 「メニュー」キーを押し、「お粥」を選択し、「スタート」キーを押すと炊飯が始まります。
7. ピッという音が聞こえ、表示器で光が回転し、炊飯が始まります。
8. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
9. ふたを開けるときは、蒸気でやけどをしないように注意し、しゃもじでよくほぐします。
10. お粥をすべて取り出したら、炊飯器の電源コードを抜きます。

注

- 内なべの最大目盛（お粥）よりも上まで米と水を入れないでください。
- お好みで米と水の割合を調整することもできます。
- お粥は5時間以上保温しないでください。

取扱説明書

雑穀米

1. 付属の計量カップを使用して雑穀米をボウルに入れ、お湯に2〜3時間浸します。
2. 内なべに浸した雑穀米を入れます。
3. たっぷりの水で雑穀米を手早くかき混ぜ水を捨て、水が澄むまで手早く洗いましょう。これを2回以上繰り返します。
4. 炊き上げる雑穀米の量に応じて適量の水を入れます（内なべの玄米の水加減まで）。
5. 内なべの外側の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認してから、ふたを閉めます。
6. 電源コードをコンセントに差し込みます。
7. 「メニュー」キーを押し、「雑穀米」を選択し、「スタート」キーを押すと炊飯が始まります。
8. ピッという音が聞こえ、表示器で光が回転し、炊飯が始まります。
9. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
10. 炊きあがったら、ふたを開け、必ずごはん全体をほぐしてください。
11. ごはんをすべて取り出したら、炊飯器の電源コードを抜きます。

注

- 内なべの最大目盛（玄米）よりも上まで玄米と水を入れないでください。
- お好みで米と水の割合を調整することもできます。
- ごはんは5時間以上保温しないでください。

取扱説明書

早炊き

1. 付属の計量カップを使用して、米を内なべに入れます。
2. たっぷりの水で手早くかき混ぜ水を捨て、水が澄むまで手早く洗いましょう。これを2回以上繰り返します。
3. 炊き上げる雑穀米の量に応じて適量の水を入れます（内なべの白米の水加減まで）。
4. 内なべの外側の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認してから、ふたを閉めます。
5. 電源コードをコンセントに差し込みます。
6. 「メニュー」キーを押し、「早炊き」を選択し、「スタート」キーを押すと炊飯が始まります。
7. ピッという音が聞こえ、表示器で光が回転し、炊飯が始まります。
8. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
9. 炊きあがったら、ふたを開け、必ずごはん全体をほぐしてください。
10. ごはんをすべて取り出したら、炊飯器の電源コードを抜きます。

注

- 内なべの最大目盛（白米）よりも上まで米と水を入れないでください。
- お好みで米と水の割合を調整することもできます。
- ごはんは5時間以上保温しないでください。

取扱説明書

蒸し料理

1. 内なべの「蒸し料理」の水加減まで内なべに水を入れます。
2. 内なべの外側の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認します。
3. 付属の蒸し台に蒸したい食品を入れます。
4. 蒸し台を内なべに入れ、ふたを閉めます。
5. 電源コードをコンセントに差し込みます。
6. 「メニュー」キーを押し、「蒸し」を選択し、「スタート」キーを押すと調理が始まります。
7. ピッという音が聞こえ、表示器で光が回転し、炊飯が始まります。
8. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
9. ふたを開けるときは、蒸気やけどをしないように注意し、食品の蒸し加減を確認します。
10. 調理が終わったら、蒸しすぎないように食品を取り出します。やけどをしないように十分注意してください。
11. 蒸した食品をすべて取り出したら、炊飯器の電源コードを抜きます。

注

- ごはんは5時間以上保温しないでください。

取扱説明書

炊き込みご飯

1. 材料の準備：白米300g、鶏肉150g、椎茸50g、千切りしたにんじん50g、油揚げ1枚、*料理酒 5g、*醤油5g、*白砂糖2g、*塩3g（材料はお好みに合わせて調整できます）。
2. 鶏肉：1 cm角に切る - 油揚げ：短冊切り - にんじん：短冊切り - 椎茸：3 cm - 白米をとぎ、30分間水に浸します。
3. *印の調味料をすべて内なべに入れます。米を内なべに入れ、2カップの目盛まで水を入れます。鶏肉、にんじんの千切り、椎茸、油揚げの短冊切りを加えます。
4. 空いている電源コンセントに電源コードを差し込み、内なべの外の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認してから、ふたを閉めます。
5. 「メニュー」キーを押し、「炊き込みご飯」を選択し、「スタート」キーを押すと炊飯が始まります。ピッという音が聞こえ、表示器で光が回転します。
6. 炊飯が終わるまでふたを開けないでください。
7. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
8. 炊きあがったら、ふたを開け、必ずごはん全体をほぐしてください。
9. ごはんをすべて取り出したら、炊飯器の電源コードを抜きます。

注

- 「炊き込みご飯」の最大炊飯量は3カップです。
- お好みで米と水の割合を調整することもできます。
- ごはんは5時間以上保温しないでください。

取扱説明書

シチュー

1. 内なべに材料を加え、適度な水を入れます。
2. 内なべの外側の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認してから、ふたを閉めます。
3. 電源コードをコンセントに差し込みます。
4. 「メニュー」キーを押し、「シチュー」を選択し、「スタート」キーを押すと調理が始まります。
5. ピッという音が聞こえ、表示器で光が回転し、炊飯が始まります。
6. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
7. ふたを開けるときは、蒸気でやけどをしないように注意してください。
8. シチューをすべて取り出したら、炊飯器の電源コードを抜きます。

注

- 内なべの最大目盛（白米）よりも上まで米と水を入れないでください。
- シチューは5時間以上保温しないでください。

取扱説明書

炊飯の予約

予約できるメニュー：白米、玄米、お粥、雑穀米、早炊き、蒸し
ここでは例として白米の予約について説明します。

1. 付属の計量カップを使用して、米を内なべに入れます。
2. たっぷりの水で手早くかき混ぜ水を捨て、水が澄むまで手早く洗いましょう。これを2回以上繰り返します。
3. 炊き上げるごはんの量に応じて適量の水を入れます
4. 内なべの外側の水滴をふき取り、内なべを炊飯器にセットします。内なべの外側や縁に米つぶがないことを確認してから、ふたを閉めます。
5. 電源コードをコンセントに差し込みます。
6. 「メニュー」キーを押し、「白米」を選択します。
7. 「予約」キーを押すと、初期設定の予約時間が表示されます。
8. 次に、「予約」キーを押して、必要に応じて予約時間を調整します。予約時間を8時間とした場合、8時間後に炊飯が完了します。
9. 「スタート」キーを押すと炊飯が始まります。ピッという音が聞こえ、予約時間のカウントが始まります。
10. 米が炊き上がると、ブザーが鳴り、自動的に保温モードになります。
11. 炊きあがったら、ふたを開け、必ずごはん全体をほぐしてください。
12. ごはんをすべて取り出したら、「保温/取り消し」ボタンを押し保温状態をOFFにしてください。

取扱説明書

注

- 炊き込みとシチューは予約調理に対応していません。
- 予約時間とは、炊飯終了時間を意味します。予約時間を8時間とした場合、8時間後に炊飯が完了します。
- ごはんがにおうことがありますので、予約時間を12時間以上に設定しないようお勧めします。
- 「予約」キーを短く押すと0:10ごとに、長く押すと1:00ごとに変化します。
- 予約時間があらかめ設定された炊く時間より短い場合、直ちに炊飯が始まります。たとえば、白米の予約炊く時間が1:00の場合、予約のカウントダウンが1:00に達すると炊くが始まります。
- それ以外の予約炊く時間については、下の表をご覧ください。

機能	予約炊く時間
白米	1:00
玄米	1:30
お粥	1:30
雑穀米	1:30
早炊き	0:50
蒸し	0:45

取扱説明書

保温/取り消し

保温

- 炊飯後、炊飯器は自動的に保温に切り変わります。
- 炊飯していない状態や予約をしていない状態で、「保温/取り消し」キーを押すと、自動的に保温に切り変わります。

取消

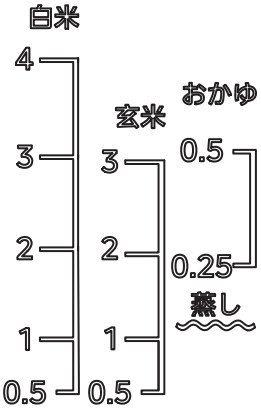
- 機能を設定している間に、機能を切り替えたり取り消したい場合、「保温/取り消し」キーを押すと、もう一度設定を始めることができます。
- 炊飯を始めてから32秒以内に、機能を切り替えたり取り消したい場合は、「保温/取り消し」キーを押し、もう一度選択してください。
- 32秒以上経ってから機能を切り替えたり取り消したい場合は、3秒以内に「保温/取り消し」キーを2回押し、もう一度選択してください。

注

- [0h]は、保温時間が1時間未満、[1h]は1時間、[2h]は2時間を意味します。
- 24時間まで保温が設定できます。
- 風味が落ちるので、保温時間を5時間以下にするようお勧めします。
- 保温中は、内なべの中で食品は断続的に65°C以上で保温されます。

取扱説明書

目盛の使い方



早炊き、白米、炊き込みでは、白米の目盛まで水を入れてください。

最大炊飯量	最小炊飯量
4カップ	0.5カップ

玄米、雑穀米の場合は、玄米の目盛目盛まで水を入れてください。

最大炊飯量	最小炊飯量
3カップ	0.5カップ

お粥：お粥の場合は、お粥の目盛まで水を入れてください。お粥の炊飯

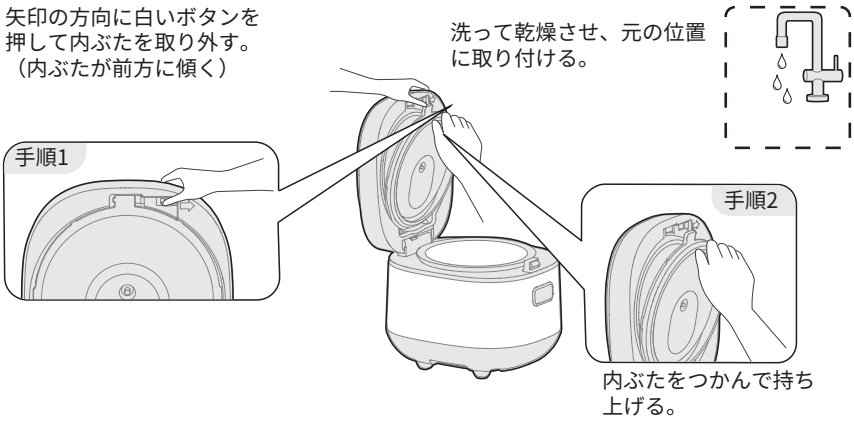
最大炊飯量	最小炊飯量
0.5カップ	0.25カップ

蒸し料理：蒸す場合は、内なべの「蒸し」の目盛まで水を入れてください。水が多すぎると沸騰したときにふきこぼれ、水が少なすぎると生煮えになります。

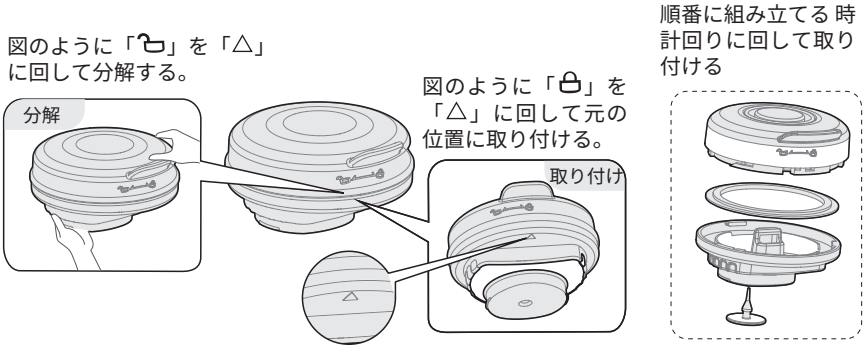
清掃とお手入れ

清掃やお手入れの前に電源を切ってください

内ぶたの取り外し



蒸気孔の着脱



清掃とお手入れ

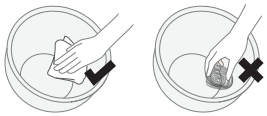
炊飯器本体の清掃

清潔な柔らかい布でふく

注意：炊飯器の内側を洗ったら、必ず乾燥させる。濡れているときは電源を入れない。

内なべ/蒸し台の清掃

きれいな水に10分間浸し、残った米つぶがふやけたらすすぐ



注意：内なべはスポンジの研磨粒子部分で洗わない。フッ素加工面がはがれる原因。

乾燥

洗浄後、内なべと蒸し台を乾燥させる

故障かな？と思ったら

操作を間違えると誤動作の原因になります。お困りの時は次の点をご確認いただき、それでも具合が悪い時はサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなときは	ここを確認して	解決策
やわらかすぎる、かたすぎる、しんが残る、おこげができる、ふきこぼれる、生煮えになる	• 水加減を間違えた • メニュー選択を間違えた • 内なべの裏・熱板・センターセンサーにこげついたごはんつぶや水滴などがついている • 蒸気孔が正しい位置に取り付けられていない • 内なべが変形している	• 目盛に従って水を入れる • 正しい機能を選択する • 炊くプレートから米つぶなどを取り除き、もう一度炊飯する • 蒸気孔を正しい位置に取り付ける
保温中ににおう、変色する、乾燥する	• パッキン類や内なべの縁にごはんつぶなどがついている • 空気が漏れる • 保温時間が長過ぎる	• ごはんつぶなどを取り除く • 保温時間を5時間以内にする
炊飯中、むらし中、保温中に音が出る	• 内なべが濡れている • 炊飯中・むらし中・保温中に、ときどき音が出る	• 内なべ外面の水分を十分拭いてからご使用ください。

故障かな？と思ったら

表示	異常表示	ここを確認してください	解決策
点灯	E1	メインサーミスタ（ボトムセンサー）断線	電源コードを抜いてからもう一度差し込み、エラー表示が消えない場合、サービスセンターまでお問い合わせください。
点灯	E2	メインサーミスタ（ボトムセンサー）短絡	
点灯	E5	上ふたセンサー（ハンドルサーミスタ）断線	
点灯	E6	上ふたセンサー（ハンドルサーミスタ）短絡	
点灯	EU	通信エラー	
点滅	EU	通信エラー	

保証書

持込修理

品　　番	CRD-20PYT1B1	
保証期間	本　体	お買い上げ年月日　　年　　月　　日より1年間
お客様	お名前 ご住所	様　電話（　　） 〒
販売店	店　名 住　所	電話（　　） ㊞

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- **所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにおい買上げの販売店にお申し出ください。**
- **本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。**

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
2.ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができない場合には、下記に記載の連絡先までご相談くだ　い。
3.保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
　(イ)使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
　(ロ)お買い上げ後の転倒、使用場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
　(ハ)火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
　(ニ)一般家庭用以外（業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
　(ホ)本書のご提示がない場合。
　(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

＊お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

本書に記載の内容とは異なる方法や目的で使用されますと、保証の対象外となります。
また、生じた損害についても弊社は一切責任を負いません。

商品の修理サービスについてのご相談

□修理、お取り扱いなどのご相談は、まずは、お買上の販売店にお申し付けください。
□転居や贈答品などでお困りの場合は、弊社のサービスセンターへお問合せください。

お電話でのお問合せ　comfee Japan サービスセンター
受付時間：午前９時～１２時・午後１３時～１７時３０分
ナビダイヤル　**0120-547-032（有料）**
・PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
・土日・祝日、年末年始、お盆期間は休業とさせていただきます。

Eメールでのお問合せ　**cs_jp@feelcomfee.com**
お問合せの際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・電話番号をご記入ください。

販売元：日本美的株式会社
大阪市港区弁天1-2-1大阪ベイタワー１０階

comfee

... is how i feel !